

本隊所屬
行勅

一八時日ノ利竹營長ハ前日一引籠々地少民ヲ欲殺
シ商賣地ノ警戒設備及道路ノ補修ノ行ハ

二第四小隊ハ日ノ三附近破壊橋梁補修準備ノ
タメ小隊長ハハ名急初復車三輛ヲ以テ出發ス

本隊ハ橋梁ノ細部復察補修計畫ノ策定ヲナスト
共ニ作業據点ヲ設備ヲ行ヒ且軍政監訂現場

監督トノ連絡打合後十七時帯還ス
小隊長ハ道ニ部隊長ニ本日ノ狀況ヲ述ベ概々明

後二十三日夕刻ニ本隊勅領車通過設備ヲ了得
以見込ナルヲ報告ス

三部隊長ハ東北區昭風處置以テノ作業及一般狀況
ニ関シハヤオ兵團司令部ニ出頭シテ夕刻ヲ十

1791

- 一 號道破壊鉄橋復舊策ヲ打合テ終ル十二時甲
 分異狀ナク歸還ス
- 四 永田佐長以下八名ハ九時出發シタルラック部隊偵
 物集積所ニ至リ十一號道補修作業ニ要スル補
 修器械ヲ輸送シ十六時異狀ナク歸隊ス
- 五 十一時小早川區專以下七名ハ自動偵察車ニ乗前
 ヲ以テテモルテスニ赴キ夜ニテ兵者ニシテ後領
 シ得ガリン自動車用燃料ノ残部ヲ受取リ十五時
 歸隊ス
- 六 二十時部隊長ハ曹長以上將校全員ヲ集メ部隊
 長狀況報告ノ際速ハラレタル兵團長ノ意圖ニ
 就キ傳達シ之ニ伴フ指示及注意ヲ與フ
- 七 二十時特殊資材整備ニ関シ復命申第ニ六七號其
 ノニテ下達ス

八加藤見習士官ノ交通禁止ノ實施シテ
サリテ各部隊長ニ道路兩側六百米ノ除草ヲ命
ス

九昨日ヨリ着手シテアリタル部隊合同炊事場ハ地方
民ノ便後ヲ以テ本日終了ス

命令 夏六作命 甲第ニハ七號 其二

堀北部隊命令 十月五日正時
ワザリオシ

一 小早川軍曹ハ十一號道路破壞鉄橋補修ノタメ
探險索其他特殊資材ノ整備ヲ實施スベシ

二 カダメ自動偵車ニ輛ヲ付ス
三 村竹曹長ハ明年二月自動偵車ニ輛ヲ小早川軍

曹ノ指揮ヲ入ラシムベシ
四 予ハ現在地ニ在リ

1793

河内
郡
地

下蓮志 命令受領者ヲ兼メ口達ス
郡隊長 堀地方 佐

區分 次蓮 八院 北張 本郡 現莫 樹要 獨 營 地

本郡 二 四 一 三五 逆覽 口サリ才

第一隊 二 渡邊部隊

第二隊 二 田邊部隊

第三隊 一 井手部隊

第四隊 三 五五 口サリ才

第五隊 一 五 口サリ才

備考 六 既屬 無線一分隊 大下兵長以下四名

十月二十日

水曜雨

行動

九時藤村中尉ハ兵團司令部古谷中尉ニ作業現況ヲ報告シ、
 夕刻迄ニハ概テ自動偵察ノ通過設備ヲ終了スル
 見込ナル旨ヲ電話ス

二九時第四小隊長以下二十六名ハ、
 壊橋梁通過設備ノタメ自動偵察車ニ乗り以テ出發
 本日より該地ニ位置シ作業ヲ安具ス

三六元准尉ハ器械小隊永田伍長以下五名ヲ伴ヒ同
 行シ、第四小隊作業ニ協力シ資材整備及特
 作業 資材搬ノタメ、
 三附近ニ至ル

四九時五十分小早川軍曹以下八名ハ、
 特殊補修資材補給ノタメ、
 二出張ス

1795

五 吉野分隊井小隊... 連絡ニ来ル同小
隊ハ... 自動車故障未見成ノタ
メ未ダ業結出来ズニシテ而モ軍ニ於テハ新部隊編
成中ニシテ近ク小隊モマシラニ集結マサル可クハサル
關係上既ニ軍ニ於テ兵團既屬ヲ解カレアル也又通
報ニ接シテ依テ迎ニ電話ヲ以テ參謀部ニ對シテ
井工兵小隊ノ示ダコザリテ業結ヲ見ガル事ト及英ノ
現締成裝備ニ関シ連絡ス

六 工時藤村中尉ハ該地附近ノ治安確保、地方民生治
安定ノタメ速カニ町ノ指導者ヲ決定スルヲ至當ト
シシ之カ資料獲得ノタメ有力者三名ヲ招致シ試
問ヲ行フ

尚十六時町役場吏員(町長欠)ヲ集メ該行政地域

二 間又ル各種事項ニシテ聴取ス

七 九時五分ヨリ村竹曹長ハ地方民ヲ使役シ警備

区域ノ射界ノ遮掃並掩体ノ構築ヲテ十六時作業

ヲ終了ス

八 東地區ノ第三小隊ハ「エケヤ」ニ位置シ部隊主力

轉出後引續キ流矢橋梁ノ復舊ニ勉メアル旨ノ通

知ニ接ス

九 加藤見尉士官ハ「ダモルテス」ニ連絡シ「コシセカシ

」シ西方ニ射附近ヲ檢索スルモ異狀ナシ

給養士 本日夕食ヨリ部隊合同炊事ヲ行フ

衛生士 本日「ワザリ」地方民ノ宣撫施療ヲ実施ス

米診者十五名ナリ

1797

宿營地
現員

備考	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	水部	區分
一配屬無線一分隊	一五	二一	二二	二三	二四	二五	派遣
下兵長以下四名	九	一〇	一一	一二	一三	一四	入隊
	八	一	二	三	四	五	出張
	三	三	一	二	三	四	本隊
	二	二					現員
	九	六					摘要
							宿營地
	白	口	計	白	淺	口	
	ツ	サ	手	邊	邊	サ	
	リ	ン	部	部	部	リ	
	カ	ノ	隊	隊	隊	カ	

十月十日

金曜晴天

行動

一 村竹曹長ハ引續キ地方民ヲ使役シシテテリテ警備地区内ニ於テ兵匪潛伏ニ利スルガ如キ繁茂箇所ノ清掃及抵抗線掩体ノ構築ヲ實施ス

本日以後地方民約五百三十名ナリ

二 十時發探察員等ノ補給ノタメ「マニラ」ニ出向ケクル

小早川軍曹ヨリ資材ハ本日受領スル豫定ニシテ

テ歸隊ハ明二十四日トナル見込ノ電話ヲ受ケ

三 加藤見習士官ヲ長トシアリタル「コンセパン」ノ檢問

所ハ爾後鳩谷兵長ヲ長トシ依然其任務ヲ履行

セシメ加藤見習士官ハ本部ニ復歸ノ上情報係ヲ

担任ス

四 生號道「マニラ」三附近ノ破壊橋梁ハ十五時句動

95

1799

備車ハ浦邊ニ支障ナク補修ヲ完了ス

發後更ニ耐戰車補強作業ヲ發施ス

五 藤村中村ハ本日ハ前夜場員ヲ招致シ各座情

報ノ獲得ニ努ム町長事故欠員ノタメ町行政

停止状態ナルニ鑑ミ速カニ其ノ設立ヲ促シ治安

建設ノ實ヲ舉グルヲ急務トシ其ノ草案ヲ策立

ス

命令

夏六作命令甲第二八八號

地方部 隊命令

十月二十日

一 部隊ハワザリオ及其ノ外廓地域一帯ニ亘リ情

報ヲ收集シ以テ警備ヲ完備スルニ努ムルト共ニ治安

ノ確立ヲ期セントス

ニ加藤見習士官ハコンセロミヨシ檢問所ヲ嶋谷兵

長ニ擔任セシメワザリオニ位置シ情報収集ニ

宿營地
現員

任スベシ

三 嶋谷兵長ハ現兵カヲ以テコソセブニヨリ檢

所勤務並ニ沿道ノ警戒ニ任スベシ

四 爾余ハ現任務ヲ續行スヘシ

五 予ハ現在地ニアリ

部隊長 堀地少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達ス

區分	派遣	入院	出張	本務	現員	摘要	宿營地
本部	一	四	二	三	三	三	サリ
第一小隊				二			溪邊部隊
第二小隊				二			西邊部隊
第三小隊				一			井手部隊
第四小隊				三	二		サリ
第五小隊				二	六		サリ
第六小隊				三	六		サリ

十月三日

土曜日

行動

備考 一 既属無線一分隊以下兵長以下四名

一 村竹曹長ハ引續キ地歩民(四百五十名)ヲ使役シ、
サリオ警備地区内ノ清掃並ニ抵抗線掩体ノ構
築ヲ實施シ本日ヲ以テ概テ終了ス

二 部隊長ハ九時三十分ヨリ部隊宿營地附近、十三時
ヨリ、コンセブリン檢問所及同附近ノ警戒設備及
服務ノ状況ヲ視察ス

三 十時三十分藤村中尉ハ兵團參謀部ニ對シ、ソサ
ホ一帯ノ治安民生ニ関スル状況ニ基キ組織体ノ
結成急ヲ要スルコトヲ報告シ治安維持官長任

命ノ件ヲ運送ス

四 十時部隊長ハ舊視察「ボニア」カラツラ「ワザリ」
才「治安維持會」長ニ命シ速カニ之ヲ組織シ治安
産業教育ニ関スル方針ヲ指示ス

五 自動車三輛ヲ以テ「マニラ」貨物廠ニ出番中ノ
小早川軍曹以下八名ハ土曜前破壊鉄橋補修ノ
タメニ密探酸素「アセチレン」瓦斯其他ノ受領ヲマシメ
一時異状ヲク歸隊ス

命令

堀北部隊ヨリ命令

十月二十日

陸軍兵長

嶋谷 藤治

陸軍伍長

(十月二十日)

司馬士官

陸軍見習士官

加藤 利徳

陸軍少佐

陸軍少校軍曹

小早川 利夫

1803

宿地

水邊服務ヲ命ス

陸軍兵長

寶進博秋

醉中日誌及戦闘詳報提出ノタメ一泊二日ノ豫定ヲ以テ心ヲ才兵團司令部ニ出陣ヲ命ス

陸軍少将

小松 茂登兵

入院ヲ命ス

傷

網野 茂通

通譯トシテ採用シ可給或圖ヲ給ス

(十月二日)

區分	派遣	入院	出張	職務	現員	攝政	宿	營	地
第一隊	一	四	一	一	三四	通譯	宿	營	地
第二隊	一	一	一	一	一	一	宿	營	地
第三隊	一	一	一	一	一	一	宿	營	地

十月十五日
日曜雨

行動

一本日營内休養ヲナス
 二十時蘇村中村ハ兵團參謀部ニ對シ掘井小隊ノ件
 及交通制限方針ニ関シ連絡ニタル所偶々掘井小隊
 ハ指揮ヲ脱スヘキ軍命令來リ又交通制限ハ
 充分檢問オ上奉活必需物竄流入ノタメ支障ナキ
 回答ヲ得又金山方面ノ兵匪未ダ討伐完了セザル

備考

一八院者 陸軍上筆兵 小松茂登美
 六配馬 無線一分隊大下兵長以下四名

第四隊	二	二	一	一	二六	〇	〇
器械小隊	一五	五	三	三	三	〇	〇

夕橋梁補修資材收集出来サルヲ以テ暫ク本格的
補修ハ延期スルヲ至當ト認ムル旨ノ電話アリ
三十時夏作命甲第三九一號ヲ電話ニヨリ受領ス
依テ直ニ作業及独立工兵第二十一聯隊掘井隊
之ニ歩兵第百四十一聯隊無線分隊本属復歸ニ関
スル命令ヲ下達ス
四十八時安東近兵長ハ陣中日誌並ニ戦闘詳報提
出ノタメ連絡自動車ニ依リ「バダオ」兵團司令
部ニ出張ス
二十時池内見習士官ヨリ只今「バダオ」ニアリ補修
資材ヲ整備シタルヲ以テ橋梁補修作業ヲ續行シ
度シトノ電話アリタルヲ以テ明勅兵團參謀部ニ
報告ノ上更ニ電話スベキコトヲ指示ス
六九時早分松本見習士官ハ兵八名ヲ伴ヒ自動車

依リテモルニハニ望リ副食物ハ魚類ヲ謝辭シ十時
五分歸隊ス

命令

夏六作命田第ニ八九號

此地部隊命令

十月五日十時

下「ベシゲツト」方面ノ鑛山開發ニ對スル兵匪ノ紛争
極メテ激發シテ十一號鉄橋補修ノ特殊發戦
ハ米ダ整備困難ナル状態ニシテ

ニ部隊ハ十一號道破壊橋梁ヲ本格的復舊作業
ヲ暫ク延期シ爾後ノ行動ヲ準備セントス

但シ上米第ニ聯隊掘井小隊及歩兵第百四十一
聯隊無線分隊ノ配屬ヲ解カル

三第聯隊ハ十一號道補修橋梁ノ通行制限ノ標識
設置ヲ行ヒ其ノ本格的補修ハ之ヲ期ク延期シ

先ヨリガリオニ歸還シ爾後ノ行動ヲ準備スベシ
 四 秋五七兵革ヲ聯隊堀井小隊ハ速クシマニラシニ
 至リ本屬ニ復歸スベシ
 五 歩兵第百一聯隊憲兵隊ハ、ハヤオノ至リ候ハ
 屢ニ復歸スベシ
 六 前三項指揮轉換ノ時期ハ、シマラシ及ハヤオ到着時
 トス
 七 器械小隊長ハ破壊橋梁補修器械ノ整備ヲ續行ス
 ルト共ニ本團自動貨車二輛ヲ松本見習士官ノ指揮
 ニ入ランムベシ
 八 松本見習士官ハ、カモルヲ以テ至リ部隊給養物資
 ノ調辦ヲナスベシ
 自動貨車一輛ヲ付ス
 九 爾餘ハ現任務ヲ續行スベシ

十子ノ現在地ニ在リ

部隊長 堀地少佐

下達法 命令受領者ヲ策メテ達事証セシム

尚堀井小隊ニハ傳令ヲ以テ傳達ス

夏作命甲第三九一號

奈良兵團 命令 五月三十日付

一 兵團正兵隊長ハ其ノ指揮下ニアル独立工兵隊ニ
 十一聯隊ノ小隊(堀井小隊)ヲ凍カニマシラシメ
 ラシメ又歩兵隊ニテ一聯隊ノ無線一分隊ヲ
 ハヤオシテ至ラシメ各々奈良所屬ニ復歸セシムベ
 シ 指揮轉移ノ時機ハ右部隊ヲマシラシメ及ハズ
 到着時トス

二 項以下略

備後
備前
備中
備後

兵衛長 奈良中將

備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後
備考	備前	備中	備後	備前	備中	備後	備前	備中	備後

13693

1810

十月二十日
月曜雨天

行動

一 村竹曹長ハ地味民約ニ而名ヲ使役シ宿營地附近
 ノ諸故備ニ清掃ヲ行フ

二 九時岡田中尉ハ電話ヲ以テ兵團參謀部ニ連絡中
 ノ池内見惠士官ニ持殊資材整備ノ狀況ヲ聽取シ
 心處恒久作業着手ニ支障ナクコト判明セシヲ以テ
 其ノ旨隊長ニ報告ス

三 十時作業ニ關スル命令ヲ下達ス

四 十時第四小隊山崎伍長以下五名ハ壓搾要素「アセ
 テレン」瓦礫等ヲ受領ニ末リ十時三十分歸隊ス

五 八時及十四時「コンセパン」檢閲所ヨリノ連絡取付
 ニ同シ移動檢閲異狀ナシ

六 器械小隊藤本伍長以下三名ハ宿營地ノ電燈設

101

1811

經理

備ヲ行フ水夜ヨリ点電スルニ至ル

十時大本主計中尉ハ元上上等兵以下五名ヲ伴ヒ自動
偵車ニヲ以テダケルテ又日法人會ニ至リ生魚ヲ調
辨シ十時解隊ス

命令

夏六作命甲第ニ公九號其一

堀地部隊命令 廿月廿六日十時

一 池内小隊ノ積極的努カニ據リ特殊補修器

杖及資材ノ整備ニ取リ夕刻終了ス

二 部隊ハ夏六作命甲第ニ公九號ニ拘ラズ引續

キ十一號道破壊橋梁ノ木格約補修ヲ實シ

セトス

三 第四小隊ハ夏六作命甲第ニ公九號ニ拘ラズ引續

キ在リテ破壊鉄橋ノ木格約補修ヲ實シ

四 大元准尉及永田伍長以下五名ノ前線作業ニ
協力スルコトヲ故

五 岡田中尉ハ鉄杖作業ニ要スル壓搾酸素及
アセケレン瓦斯等ヲ特殊資材ヲ隊四ノ隊ニ交
付セシムル

六 器械小隊長ハ依然現任務ヲ續行スルト共ニ
部隊宿舎ノ電燈設備ヲ實施スル
尚自動復車ニ轉リ十時大水主計中尉ノ指揮
ニ入ラシムル

七 大水主計中尉ハ夕モルテ入隊不入會ニ連絡
シ給養物資ノ調程ヲ急スル

八 予ハ現在地ニ在リ
部隊長 堀地少佐
下達表 命令受領者ヲ集メテ達ス

南越北
光復

區分	派遣	入隊	彰	隊	現	支	宿	名	地
本部									
第一隊									渡邊
第二隊									山邊
第三隊									井
第四隊									山
第五隊									山
第六隊									山

備考
一 遺院 陸軍兵校近長
二 現屬無線一分隊 入下兵長

十月二十日
火燿雨天

行助

如藤見葛士官ハ地方民ヲ使役シ宿營地ノ清掃
特ニ除草衣業ヲ行フト共ニ教營ノ補備ヲ實施
又

二ノ時五分全員莫合ノ上精勤章附與式ヲ行フ

三ノ時五分部隊長ハ木村松本西見習士官ヲ伴ヒ
第四小隊ノ實施地ニテハ破壞鐵橋復舊衣業ノ狀
況ヲ視察シ十三時五分歸還ス

四ノ時五分解カレタル步兵第百四十一聯隊無線分隊大
下兵長以下四名ハ本日九時五分ハ本日出發
又

五ノ時五分村竹曹長以下九名ハ自動便車一輛ヲ以
テ本營ニ至リ合同浴場用木料ヲ受領シ七時

1815

歸隊ス

六 山下上等兵以下四名ハ、クマニラグ、附近ノ移動検査ヲ
ナス

衛生

七 町内ニケブス、疑似患者發生シタルヲ
以テ、旅團三兵隊防疫規定第十六條ニ依リ、本
日ヨリ第二期防疫ヲ實施ス

八 時分委員入部、手紙、見五、置、醫中尉、
實施要領ニ関シ、細部ニ説明、打合ヲ行フ

命令

堀地部隊 日日 命令

十月二十七日

一 町内ニケブス、疑似患者發生セルニ

付テ、旅團三兵隊防疫規定第十六條ニ依リ、本

日ヨリ第二期防疫ヲ實施ス

二 防疫委員ヲ左記ノ通り任命ス

一、本日、以隊、率、心、隊、之、本、部、多、十、隊、之、先、遣、

委員

隊軍中尉

藤村

重

注

副連計中尉

大木

一

持

副軍醫中尉

兒玉

志

剛

副軍醫中尉

村

木

剛

副軍醫中尉

渡邊

一

剛

副軍醫中尉

石

一

剛

副軍醫中尉

藤

一

剛

副軍醫中尉

川

一

剛

副衛生中尉

松

一

剛

副衛生中尉

新

一

剛

隊軍中尉

江

一

剛

副軍醫中尉

本

一

剛

1817

104

百餘
現員

諸君之於種族校校社之員也

區分派遣	八院	北院	東院	南院	西院	中院	東院	南院	西院	中院
本町	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第一隊										
第二隊										
第三隊										
第四隊										
第五隊										

備考一 配屬無線電隊大正長以下四名

附記

十月二十日
水曜晴大

行動

一 加藤見習士官が地方民ヲ使役シ宿營地附近ノ
清掃並ニ分哨ノ掩體ヲ構築ス

二 九時村竹曹長ハ部隊合同ハ浴場ノ準備ヲナシ分
宿舎内ノ電燈設備ヲ補充ス

三 十八時三十分[↑]マキシア三附近破壊橋梁補修作業
中ノ池内小隊長ヲ報告ヲ受ク

四 鐵橋ノ足場作業ハ本日終了。明日ヨリ鉄骨ノ組
立ヲ十八日作業終了迄ハ四五日ヲ要ス。現在軍政
路部ノ援助ナシ

五 八時鐵橋在米谷ノ砂小川ノ大橋所接續ノタメ歸
隊ノ北極山

終

六 三十分大橋建設ヲ行ハス。六時迄ヲ終ルヲ以テ

105

1820 1819

十月十日
水曜晴大

行動

一 加藤見習士官が地方民ヲ使役シ宿務地附近ノ
清掃並ニ分所ノ掃掃ヲ精査ス

二 九時村行團長ハ部隊合同入谷場ノ準備ヲ十分
痛令内ノ電燈設備ヲ補充ス

三 十八時三十分ニマニノ附近破壊橋梁補修作業
中ノ進内小隊長ヲ派報号ヲ受ク

四 鉄橋ノ定場作業ハ本日終了ニ副ヨリ鉄骨ノ組
立ヲ十八日作業終了迄ハ四五日ヲ要ス現在軍政
監部ノ援助ナシ

五 八時點検班長以下ハ小隊ノ大隊河接續ノタメ
隊シ九時點検ス

六 特務分大木無藤村ノ兵ヲ召テモルテス

經理五

特務分大木無藤村ノ兵ヲ召テモルテス

105

1820 1819

命令

以本入會ニ至リ價額指定價格ヲ揚示セシム

夏六本命令用第廿八九號其ノ一

堀北部隊命令 廿月廿八日十六時

一 器枝小隊長八明 廿九日自勳價車一輛ヲ以テ八

才兵團司令部出乘員ノ輸送ヲ擔任スヘシ

警衆兵八自隊ノ兵員ヲ以テ充當スヘシ

下達法 命令受領者ヲ集メテ達ス

部隊長 堀北少佐

堀北部隊 同日命令 三月二十八日

陸軍兵長 實道博秋

陸軍上等兵 高橋春市

陣中口談ノ整理ヲ了シタルニ付テ隊ヲ復歸

ヲ命ス

陸軍衛生軍曹

新藤 克一

入院患者護送及藥物受領ノタメハヤ才兵團司令

令部ニ出張ヲ命ス

陸軍兵技伍長

永田 忠博

陸軍編隊兵

國平 實

入院ヲ命ス

陸軍兵技伍長

針 長男

破損兵器修理ノタメ即日歸隊ノ豫定ヲ以テハヤ

才兵團司令部ニ出張ヲ命ス

陸軍経技伍長

川端 重吉

不良被服修理ノタメ即日歸隊ノ豫定ヲ以テハヤ

才兵團司令部ニ出張ヲ命ス

宿營地
出現員

隊	分	派遣	入院	出派	本部	現員	摘要	宿營地
第1隊		一	三	一	二	三 二	通譯一	フサリ キナリ
第2隊					二			渡邊部
第3隊					一			田邊部
第4隊								井手部
第5隊		一	一			三 九		ワサリ キナリ
第6隊		一	一			三 四		ワサリ

十月二十九日

水曜晴天

行動

一 陣中日誌整理ノタメ本部服務中ノ第二小隊實近
兵長以下二名ハ該業務ヲ終了シ七時以發小隊ニ復
歸ス

二 八時五分ヨリ村竹曹長ハ水江車三名外此沙民ヲ使
役シ兵員ノ入浴設備及自動車及通電設備ヲ
行フ

三 九時部隊長ハ各兵舎炊事場及自動車整備ノ
狀況ヲ視察ス

四 九時十二號道被壞橋梁補修中ノ池内見習士官
ハ電話ヲ以テ十月二十三日十二時ヨリ明後日夕刻迄交
通ヲ遮斷シ橋梁ノ鉄桁修理ヲ實施スル旨報告
スノ依テ藤村中尉ハ兵團司令部宛其旨ヲ通

107

報ス

五 十時兵團司令部山崎大尉ヨリ「タモルテス檢問所ノ歩

兵隊ハ同所ヲ撤去スルヲ以テ工兵隊ハ速カニ該

警備ノ引継ヲナシ交代サレ度トノ電報ヲ受ク

六 十一時軍分隊團司令部山崎大尉ハ命令要旨ヲ傳

ス、即チ「バウ」水ノトソヲ道ニテ「早」料間ノ橋

梁ニ箇所與匪ノ爲ニ破壊セラル交通不能ニ付

工兵隊長ハ速カニ小隊長ノ率イル二分隊ヲ以テ前

動車通過設備ヲ實施セシムルニテ「早」料間ノ橋

業ヲ一時中止スレモ已ハラザル

七 十二時前項兵團司令部ヨリ「電」報ヲ受テ命令之甚ク

内小隊二分隊ヲ速クニ破壞橋梁ノ緊急復舊ニ

出向ハシメ且「早」料間ノ橋梁ヲ復舊スルヲ以テ

動セシムルヲトシ「早」料間ノ橋梁ヲ下建シ

第四小隊ニハ即刻「キヤン」ニ警備隊ヲ介シ電話ヲ以テ右命令ヲ傳達セシム

十三時木村見習士官ハ「タモル」ニ檢問所設置ニ檢問警備ノ要領指導ノタメ自動領車一輛ヲ以テ「ガン」ニ至ル

十三時四十分兵團司令部山崎大尉ヨリ「ガン」ニ「道ノ復舊ハ急ヲ要ス歩兵一分隊ヲ附スル如ク準備シテ「アト」ノ電話「アリタルヲ以テ藤村中尉ハ「キヤン」ニ警備隊ヲ經テ池内小隊ノ出發ヲ督促ス

十六時池内見習士官ハ先ヨリ一分隊ヲ以テ先行シ兵團司令部ニ至リ連絡ノ上同所ヨリ電話ニ依リ「只今兵團司令部ニ来リ連絡ス後發ノ辻脇分隊ハ土木工器救爆藥及糧秣ヲ携行シ速カニ追及スル様傳

へラレ度シトノ連絡ヲナス。依テ同作業線ニ準備
 中ノ迂働分隊ニ其ノ旨ヲ電話ス。
 士十七時五十五分中地區隊配屬ノ第一小隊駐津中尉
 以下十名ハ事務連絡ノタメ、本館ニ来ル。
 主、木村見習士官ハ「タモルテス」機関所設置及警備指
 導ヲインテ、二十時異状ナク歸隊ス。
 主、二十時池内見習士官ヨリ電話報告アリ、第四小隊ハ
 「バズオ」ホントツク道破壊橋梁点ニ至ルニ同荷
 切ハ既ニ道路隊ト地ヲ代ニヨリ通過可能トナリアリ
 依テ只今列返シ兵團司令察ニアリ、兵團司令部
 ニ於テハ前作業ヲ續行スル如ク希望シアリ。
 主、二十時十分若報告ニ基テ夏六作命甲第ニ九一號
 フ下達シ池内小隊ニ列續ニ前任務ヲ續行セ、
 主、二十時銃兵隊長ハ破壊兵器修理ノタメ「バズオ」兵團司令

令部 砲臺 乘 十八時 歸隊 又

經理 夫 川端 伍長 以下 二名 八七時 出發 八バダオニ 至リ 修理 被

服 ヲ 兵圍 司令 部 移動 修理 班ニ 依托 シ 事務 用 為

耗品 ノ 受領 ヲ ナシ 十八時 歸隊 又

衛生 七 新藤 衛生 軍曹 八七時 出發 八バダオニ 至リ 患者 ノ

入院 ヲ 處理 シ 藥物 ノ 受領 ヲ ナシ 十八時 歸ル

命令 夏六作 命 甲 第九〇號

坂北 部隊 命令

十月 二十九日 十二時
下ノガザリ オシ

一 十號 道 八バダオ 北方 二十 料 四十 料 間ノ 橋梁 二箇

所 兵匪 ノ 多ク 三 爆破 セラレ 交通 不能 ノ 状態 十リ

二 部隊 八一 部隊 ヲ 以テ 速カニ 前項 橋梁 ノ 補修 ヲ 實施 施

スル 卜 共ニ 檢問 所ノ 變更 ヲ ナサント 又

三 池内 見習 士 官 八 其ノ 二 分隊 ヲ 以テ 即刻 出發 十號

道... 北... 新... 新... 於... 破... 橋... 於...
 補修ヲ緊急實施シ自動車通過ニ支障ナカシ
 今... 之ヲ爲現行作業ヲ一時中止スルコトヲ
 得、現作業設備ノ整備ハ宇野隊之ヲ任スル筈
 四 嶋谷班長ハ「コンセプシヨ」ニ檢問所ヲ撤シ之ヲ
 「ダモルテス」ニ移動セシメ、及、匪徒往來ノ逃避ヲ
 防止シ「ロザリオ」ダモルテス間ノ整備ニ任スベシ
 五 木村見習士官ハ「ダモルテス」檢問所ノ設置及整備
 檢問ノ實施ニ関シ之ヲ指導ニ任スベシ
 六 自動債車一輛ヲ付ス
 七 器械小隊長ハ自動債車一輛ヲ直轄ニ木村見習士官
 官ノ指揮ニ入ラシムベシ
 八 網部ニ関シテハ別ニ示ス
 九 予ハ現在地ニ在リ

新隊長 堀地 少佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達筆記セシムル後北内見

習士官ニハ電話ヲ以テ傳達ス

三六作命甲第ニ元一號

堀地部隊命令

十月二十九日二十時十分

一、バギオ「ホンドツ」道平一軒附近ノ破壊橋梁ハ偵察

ノ結果附近道路隊及地方民ニ依リ補修セシメ自勤率

通過ニ支障ナキ現況ナリ

二、部隊ハ引續キ「キャンプ」附近ニ於ケル橋梁ノ恒久補修

作業ヲ續行セントス

三、池内小隊ハ原作業位置ニ歸還シ引續キ破壊鐵橋

恒久補修作業ヲ實施スベシ

作業實施ニ伴フ交通遮断ニ関シテハ隊本部ニ

連絡スベシ

四 水村見習士官ハ嶺谷分隊及在「ロザリ」オ兵力、餘

裕ヲ以テ「クモル」オ「サントト」オ附近ノ情報ヲ收集

シ之ヲ檢索ヲ實施スベシ

自動貨車一輛ヲ付ス

五 水村小隊長ハ宿營設備ノ補備ニ任スル外、前任務ヲ續

行スベシ

尚水村見習士官ニ自動貨車一輛ヲ屬セシムル

但共ノ時機ハ同見習士官ノ連絡スルモノトス

六 細部ニ関シハ別ニ指示ス

予ハ現在地ニ在リ

13693

部隊長 垣地 少佐

CAPTURED AT
KFRD/PI
23 June 1945

十月五日

金野量後衛

行動

一 本村見習士官、夏六依命甲第九一號ニ基キ西川兵
 長以下六名ヲ伴ヒ自動車一輛ヲ以テ九時
 三十分出發シダモルテ又「サントトーマス」附近ノ情報收
 集ニ檢索ヲ行ヒタル處格別ノ異状ヲ認メズ
 二 一時異状ナク歸隊ス
 三 「ヤマノ」附近ノ鉄橋補修作業ハ本日ヲ以テ本務
 酌復舊工事ノ準備ヲ了シタルヲ以テ明早朝
 コリ之カ實施施ニ着手ス、依テ藤村中尉ハ電話
 ヲ以テ「ベンゲット」道交通遮断ニ関シ兵團司令
 部「ヤマノ」及「ヒナ」各警備隊ニ其ノ旨ヲ
 通報シ交通統制方ヲ依頼ス
 四 七時三十分池内見習士官ヨリ作業ノ豫定ノ如ク進

持ニ明朝七時三十分ヨリ本格的工事ニ着手スル
旨ノ電話アリ

四 村竹曹長ハ兵五名ヲ伴ヒ部隊合同入浴場設備用
ノ鉄杖等ニ鍛工具整備ノタメ「タルラック」部隊荷物集
積所ニ至リ十四時歸隊、引續キ作業ヲ實施ス
五 事務連絡中ノ第一小隊殿津中尉以下十名並ニ陣中日
誌整理ノタメ本部服務中ノ笹野上等兵以下二名
ハ用務ヲ了シ十四時同行「ポイント」ニ向ケ出發ス

命令

掘地部隊 日日命令

十月三十日

陸軍上等兵

笹野 勇

同 上等兵

中村 正鶴

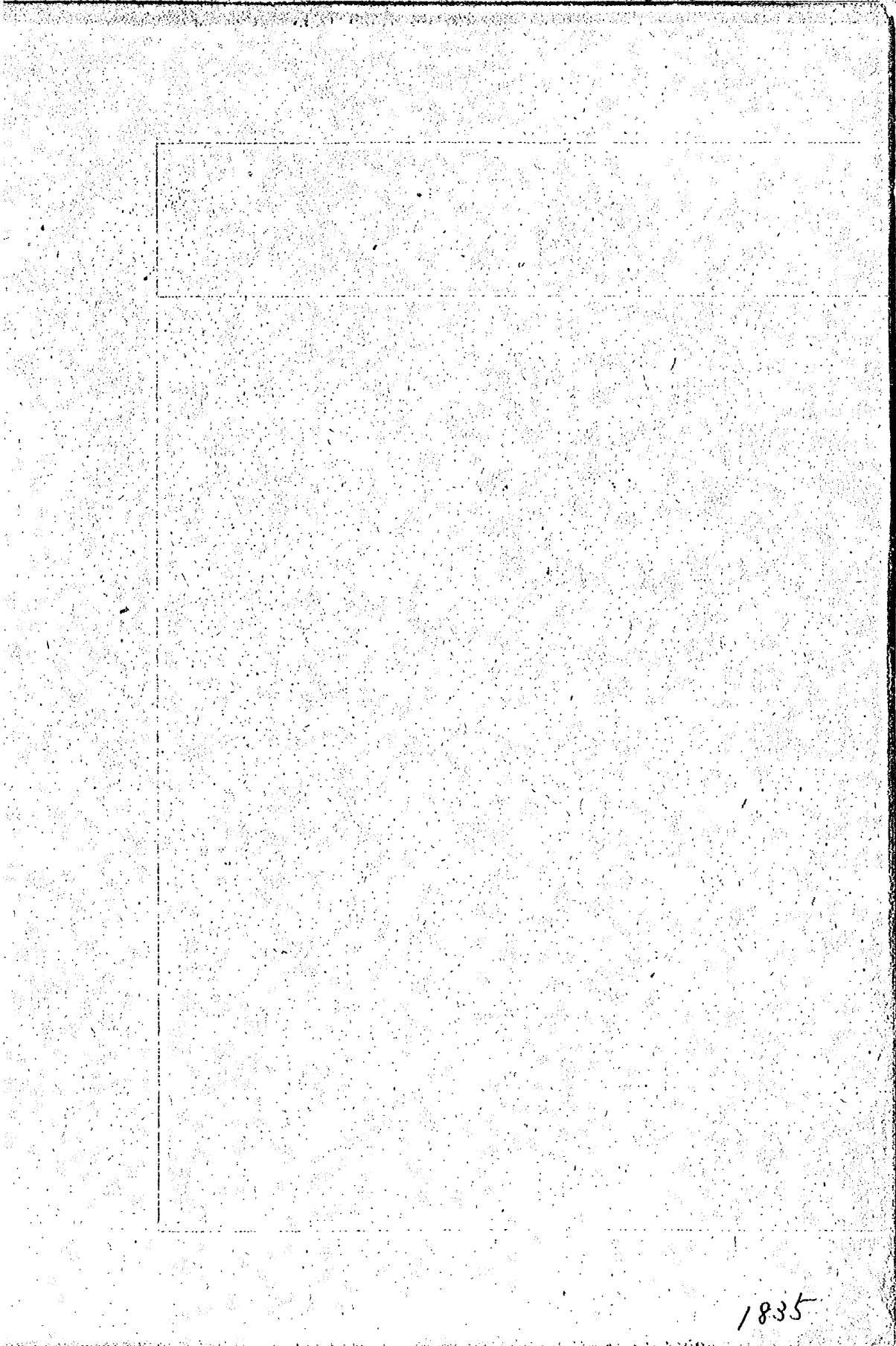
陣中日誌整理終了ニ付、第一小隊復歸ヲ命ス

宿
現
員
地

區分隊	本部	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊
一	一	一	一	一	一	一
三	三	三	三	三	三	三
一	一	一	一	一	一	一
三	三	三	三	三	三	三
三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七
通譯	通譯	通譯	通譯	通譯	通譯	通譯
宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿
地	地	地	地	地	地	地

112

1834



1835

十月三十一日
土曜晴天
日此六時四十九分
日没六時五十分
行動

一八時四十分池内見習士官ヨリ電話ヲ以テ本朝七時
三十分ヨリ鉄骨組立ニ着手シテ下リ作業ハ順調ニシテ
明日午前中ヲ以テ概成シ交通遮断ヲ解除シ得ル
見込ノ旨報告アリ

二九時第四小隊辻勘兵長以下六名ハ状況報告並ニ
糧秣受領ノタメ東隊シテ十時四十分作業点ニ歸ル

三九時加藤見習士官ハ宿營地附近ニ於ケル警戒戒
備ノ演習ヲ實施ス

四九時三十分「ダモル」テス検問所ヨリ嶋谷伍長以下四
名ハ移動検問ヲ行ヒ本部ニ連絡ヲナシ十一時兩ヒ
「ダモル」テスニ至ル

五十四時加藤見習士官ハ東北台上ニ於テ投擲機ノ刻

113

1838

練ヲ實施ス

六村竹曹長ハ部下ニ名ヲ使役シ入浴場ノ設備ヲ續

行ス

衛生ニ留意地附近住民ニ對スルケダズ豫防注射ハ百千

名ニ上リ本日ヲ以テ終了ス

命令

掘地部隊ヨリ命令

十月三十一日

一 掘地士官

陸軍曹長

渡邊 久夫

掘地下士官

陸軍伍長

稲真 竹水

水調掘地勤務ヲ命ス

衛生

掘地

水調

掘地

掘地

掘地

掘地

掘地

掘地

掘地

掘地

掘地

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊
一五	一一		
五	一〇		
八			
三			
三	三九		
ワ	×ワ	井	西
リ	ヤ	守	邊
リ	リ	部	部
ガ	ガ	隊	隊

114

1838

1839

十月二十日

金曜 曇 後雨

行動

13693

六木村見習士官ハ夏六依命甲第ニ九一號ニ基キ西川兵
 長以下六名ヲ伴ヒ自動車一輛ヲ以テ九時
 五分出發「ダモルテス」「サントトマス」附近ノ情報收
 集ニ檢索ヲ行ヒタル處格別ノ異状ヲ認メズ
 一時異状ナク歸隊ス
 「ヤンゴ」三附近ノ鉄橋補修作業ハ本日ヲ以テ本務
 的復舊工事ノ準備ヲ了シタルヲ以テ明早朝
 ヨリ之カ實施ニ着手ス。依テ藤村中尉ハ電話
 ヲ以テ「ベンゲット」道交通遮断ニ関シ兵團司令
 部「ヤンゴ」及「ビナロ」各警備隊ニ其ノ旨ヲ
 通報シ交通統制方ヲ依頼ス
 三十七時五分迄内見習士官ヨリ作業ハ豫定ノ如ク進

116

1840

將三羽期七時三十分ヨリ本格的工事ニ着手スル
付ノ電話アリ

四 村竹曹長ハ兵五名ヲ伴ヒ部隊合同入浴場設備用
ノ鉄杖並ニ鍛瓦具整備ノタメ「タルラック」部隊荷物集
積所ニ至リ十四時歸隊、引續キ作業ヲ實施ス
五 事務連絡中ノ第一隊敷津中尉以下十名並ニ陣中日
誌整理ノタメ本部服務中ノ笹野上等兵以下二名
ハ用務ヲ了シ十四時同行「ホントツ」ニ向ケ出發ス

命令

堀地部隊日命令

十月二十日

陸軍上等兵

笹野一男

同 上等兵

中村正鶴

陣中日誌整理終了ニ付第一隊復歸ヲ命ス

13693

南軍北

下達法 命令受領者ヲ集ムニ達定セシメ
池内見習士官ニハ電話ヲ以テ傳達ス

115

備考	一以既	陸軍少将	永田忠博
公選既	陸軍中將	岡平賢	見水次助
各機隊	一	八	三
第一隊	一	九	七
第二隊	一	九	七
第三隊	一	九	七
第四隊	一	九	七
第五隊	一	九	七
第六隊	一	九	七
第七隊	一	九	七
第八隊	一	九	七
第九隊	一	九	七
第十隊	一	九	七
第十一隊	一	九	七
第十二隊	一	九	七
第十三隊	一	九	七
第十四隊	一	九	七
第十五隊	一	九	七
第十六隊	一	九	七
第十七隊	一	九	七
第十八隊	一	九	七
第十九隊	一	九	七
第二十隊	一	九	七
第二十一隊	一	九	七
第二十二隊	一	九	七
第二十三隊	一	九	七
第二十四隊	一	九	七
第二十五隊	一	九	七
第二十六隊	一	九	七
第二十七隊	一	九	七
第二十八隊	一	九	七
第二十九隊	一	九	七
第三十隊	一	九	七
第三十一隊	一	九	七
第三十二隊	一	九	七
第三十三隊	一	九	七
第三十四隊	一	九	七
第三十五隊	一	九	七
第三十六隊	一	九	七
第三十七隊	一	九	七
第三十八隊	一	九	七
第三十九隊	一	九	七
第四十隊	一	九	七
第四十一隊	一	九	七
第四十二隊	一	九	七
第四十三隊	一	九	七
第四十四隊	一	九	七
第四十五隊	一	九	七
第四十六隊	一	九	七
第四十七隊	一	九	七
第四十八隊	一	九	七
第四十九隊	一	九	七
第五十隊	一	九	七
第五十一隊	一	九	七
第五十二隊	一	九	七
第五十三隊	一	九	七
第五十四隊	一	九	七
第五十五隊	一	九	七
第五十六隊	一	九	七
第五十七隊	一	九	七
第五十八隊	一	九	七
第五十九隊	一	九	七
第六十隊	一	九	七
第六十一隊	一	九	七
第六十二隊	一	九	七
第六十三隊	一	九	七
第六十四隊	一	九	七
第六十五隊	一	九	七
第六十六隊	一	九	七
第六十七隊	一	九	七
第六十八隊	一	九	七
第六十九隊	一	九	七
第七十隊	一	九	七
第七十一隊	一	九	七
第七十二隊	一	九	七
第七十三隊	一	九	七
第七十四隊	一	九	七
第七十五隊	一	九	七
第七十六隊	一	九	七
第七十七隊	一	九	七
第七十八隊	一	九	七
第七十九隊	一	九	七
第八十隊	一	九	七
第八十一隊	一	九	七
第八十二隊	一	九	七
第八十三隊	一	九	七
第八十四隊	一	九	七
第八十五隊	一	九	七
第八十六隊	一	九	七
第八十七隊	一	九	七
第八十八隊	一	九	七
第八十九隊	一	九	七
第九十隊	一	九	七
第九十一隊	一	九	七
第九十二隊	一	九	七
第九十三隊	一	九	七
第九十四隊	一	九	七
第九十五隊	一	九	七
第九十六隊	一	九	七
第九十七隊	一	九	七
第九十八隊	一	九	七
第九十九隊	一	九	七
第一百隊	一	九	七

1842

1843

13693

南營
現員地

區分	派遣	公配	出張	本務部	現員	摘要	宿	營地
本部	一	三	一		三七	通譯一	ロサリオ	
第一隊							渡邊部隊	
第二隊							田邊部隊	
第三隊							井手部隊	
第四隊							ロサリオ	
第五隊							ロサリオ	

117

1844

1845

南
營
地
員

13693

118

區分	派遣	入院	出張	旅部	現員	摘要	宿	營地
本部	一	三	一	三七	通譯一	ロサリオ		
第一隊	一	一				渡邊部隊		
第二隊						田邊部隊		
第三隊						井手部隊		
器械隊	一五	五	八	三三		ロサリオ		

1846

1847